

市長への手紙（令和4年度分）

「地域防災活動の啓発について」

元自衛隊、警察、消防などで勤務経験がある人が地域防災活動に積極的に貢献できるよう、啓発してほしい。

【回答】

茂原市地域防災計画で、「阪神・淡路大震災では、建物の倒壊などにより生き埋めになった被災者を地域の人達が救助するなど、救命に大きな成果をあげているほか、東日本大震災でも、避難生活に地域のつながり、力が大きく貢献しているところである。都市化や核家族化の進展などの社会構造の変化により、地域コミュニティの弱体化が叫ばれ始めているが、「自分たちの地域は自分たちで守る」といった共助の考え方の重要性を再認識し、消防庁の「自主防災組織の手引き」等を参考にした自主防災組織の機能強化や災害対策コーディネーターの養成を促進し、共助の中核となる人材を育成するなどの取組みの強化に努める。」としており、本市といたしましても地域の自主防災組織の設立及び育成の促進に努め、今年度は令和4年6月15日号の広報もばらにて「災害対策コーディネーター養成講座」の開催を周知し、実施しております。

また、市民の皆様には、自治会等の地域コミュニティを大切にいただき、災害時にも協力し合える関係づくりを平時より行っていただくようお願いしています。

市内には現在94の自主防災組織があり、市民の有志の方が自主防災組織設立に向けて準備会などの組織ができるよう、職員が出前講座を行い、組織が設立されれば資機材などの支援を行うこととなっています。

【担当課：防災対策課】